



どんなきっかけで、ひとは本をつくり始めるんだろ？

宮城で本をつくるのはどんなひとだろ？

おふたりの作り手に伺いました！

## ピピのアトリエ\*猫妖精舎さん

### 自己紹介

豆本や箱を作る職人系作家です。

ファンタジー・SF系の小説やイラストを日々書き・描きしています。ウサギの技師ピピが住む塔のてっぺんに居候しています。

### はじめて本をつくったのはいつですか？

2016年頃

### それはどんな本ですか？

サイズ：縦60×横45mm | 本文72ページ | 手製本

製本方法：糸綴じハードカバー、紅茶染め

北の果ての岩窟の寺院に住まう導師と、その弟子の物語。

弟子は師のことを父のごとく慕っていますが、寺院に来る前につらい目に遭っていて、ちょっと人間不信。

師に歯の妖精のことを教えられて、信じようかどうか迷います。

父と子がテーマのおとぎ話です。

### 本をつくろうと思ったきっかけは？

カルトナージュの資格を取ったのでそれを活かしたいと思いました。

そして豆本が好きなので、自分好みの趣味全開の小さな本を作り、ミニチュアな本棚に並べてみたいというひそかな願望があったからです。

### 今一番手にとってほしい本について教えてください

#### 『白鷹の十字星』

豆本新シリーズの第一弾目です。師を失った弟子が、師を偲びながら夜空を見上げて、北天を巡る星座の物語を語ります。

十字星はとある国の守護者白鷹様が、とある娘の体を借り受け、とんでもないことをしてしまうお話です。

ページを紅茶にどっぽんして、わざと古書のような雰囲気を出しています。



『白鷹の十字星』

約46×63mm / 96ページ

### 自己紹介

手製本に魅せられて、本や本のようなものを作っています。本を通した表現を模索中。なんでもないひと。製本遊び人。「雑がみ」を使った製本や、製本を使った遊びを楽しんでいます。色々な人と、製本を通して遊びたいです。いつか、誰かの文章の装丁をするのが夢です。

### はじめて本をつくったのはいつですか？

2020年3月頃

### それはどんな本ですか？

サイズ：A7 | 本文40ページ | 上製（角背） | 手製本

『なんでもないひと』というタイトルの、短い詩のような物語を作りました。長いお話を書けなかったので、本の厚みを出すのに厚手のポストカード用紙を使うなど工夫しました。表紙には、家庭用インクジェットプリンターで印刷できる布を使っています。その後、製本クロスに活版箔押しの表紙で作り直しましたが、そちらはコロナウィルス感染症によるイベントの中止が続いた影響で、まだ直接見て頂ける機会を持てていません。

### 本をつくろうと思ったきっかけは？

六丁の目にあるDIYスタジオ「analog」で行われた、角背上製ノートのワークショップに参加したのがきっかけです。ハードカバーの本が自分の手で作れることに感動し、中身も自作するようになりました。ちなみに、analogには活字もあるので、タイトルの箔押しなどもできでお勧めです。

analog▶<https://analogpress.net>

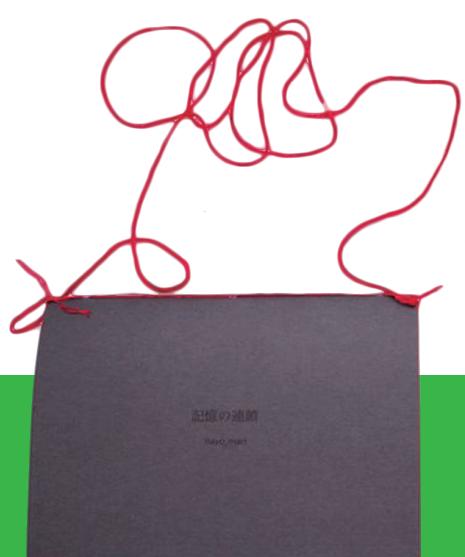
### 今一番手にとってほしい本について教えてください

『記憶の連鎖』／『無数の微妙なエピソードのために』という2冊組の本です。東日本大震災から10年を機に、友人とその時のエピソードについて文章でやりとりしました。お互いの記憶から、更に別の記憶が呼び起こされ、でたらめなしりとりのような繋がりを持って続いていきました。縦に開く形にしたので、首にかけて読めるよう、糸を長くしています。友人には、その後も文章を書き続けてもらい、そちらも1冊の本にしました。

宮城で暮らすインディーズ作家さんにインタビュー



『無数の微妙なエピソードのために』  
A6版/40ページ



『記憶の連鎖』  
A6版/44ページ